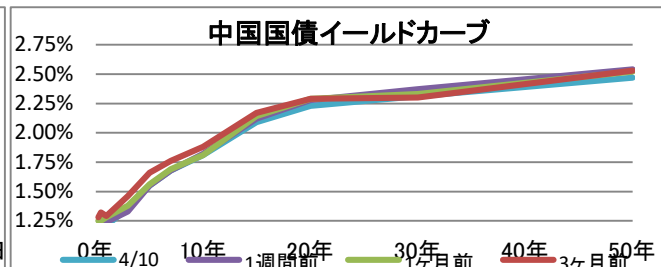
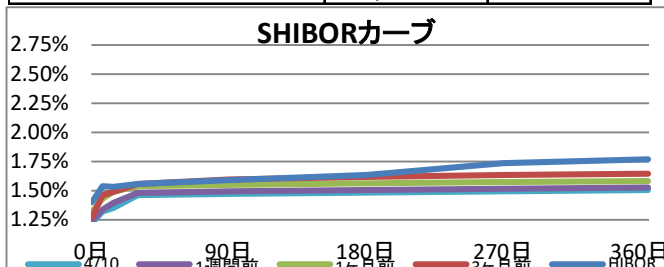


1. 市場概況

基準レート		2026/4/10	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.8654	-0.0275
	JPY/CNY	4.3056	-0.0131
SHIBOR	3M	1.4715%	-0.0215%
国債利回り	10年	1.81%	-0.01%
上海総合指数		3,986.23	+106.13



(1) 概況

国際金融市場は、中東和平と原油価格の安定に対する期待からリスクオンとなり、株式市場は、ホルムズ海峡の船舶航行状況や原油価格を眺めながら上昇を続け、債券市場も金融政策見通しに対する楽観的な見方から下値を切り上げる（利回りは低下）展開となっていたものの、週末の中東和平交渉を前に米CPIがガソリン価格の上昇を主因に予想通りながら大幅に上昇したことから、上昇幅を縮小（債券利回りは低下幅縮小）する展開。外為市場では有事のドル買いの巻き戻しからドルが下落し、金はドルの下落により上昇していたものの安全資産ニーズの低下から上昇幅を縮小し、ビットコインは下値を切り上げる展開。

中国金融市場では、中東情勢の改善や国内のデフレ状況の改善を示すインフレ指標を受け、株式市場は大幅な上昇に転じ、債券市場も資金需給や世界的な長期金利低下を背景に堅調に推移（利回り低下）し、外為市場では中国人民銀行が急激なドル安元高へのけん制姿勢を示すものの、ドル安や中国人民銀行の金融緩和期待の一段の後退等により人民元高が進んでいる。

中国では、習主席が安全保障強化の観点から、新エネルギーシステムの開発加速を党幹部等に要請し、全国サービス業大会では、同産業の規模拡大と質的向上等を訴え、台湾国民党党首の鄭氏との会談後には、党が台湾への10項目の優遇策を発表。李強総理は、経済専門家らとの会議において先進製造業とサービス業の融合支援姿勢を示し、何立峰副総理は、米国著名経営者との会談で対外開放拡大方針に言及して対中投資や事業展開を歓迎し、健全で安定的な米中関係に対する期待を表明。国務院は、産業サプライチェーンの安全に関する規定を公布し、強靱性と安全水準の向上や経済社会安定と国家安全保障維持を目的に、制度・措置の整備等を規定し、商務部等は、電子商取引（EC）発展推進の指導意見を公布し、デジタルと実体経済の融合促進や越境EC加速、海外調達拠点の構築等を規定し、国有資産監督管理委員会は、海外国有資産監督管理局を設立し、国有企業の海外業務運営に対する監督管理を強化。国家金融監督管理総局は、清華大学AI研究所名誉院長特別指導講義でAI技術の強化、デジタルインテリジェンスと監督能力のレベル向上等の必要性を議論し、中国証券監督管理委員会は、創業板改革による新質生産力発展への貢献に対する意見や上場企業のガバナンス強化への対応方針を示し、2026年の立法計画を公表。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日3,040億元、アウトライトリバースオペ期日11,000億元、中央国庫現金管理商業銀行定期預金期日700億元に対し、リバースオペ35億元、アウトライトリバースオペ（3カ月）8,000億元を実施し、6,705億元を吸収。

(3) 主な経済指標

- ・CPI (3月) は、前年比+1.0% (2月、同+1.3%) と、2月の春節休暇の影響剥落から、食品や旅行等の伸び鈍化が全体を押し下げる中、ガソリン価格の上昇等を主因に6カ月連続のプラスとなったが、コアでは同+1.1% (2月+1.8%) とプラス幅を大幅に縮小し、前月比では-0.7% (2月、同+1.0%) と4カ月振りにマイナス転化。
- ・PPI (2月) は、前年比+0.5% (2月、同-0.9%) と、42カ月振りにプラス転化。消費者の節約志向を映じて生活財価格は、食品、耐久消費財などを中心に下落幅は前月並みながら、反内巻政策の効果等から前月にプラス転化した加工業が伸びを高めたほか、原材料や採掘が、原油などエネルギー価格上昇を反映してプラス転化し、全体を押し上げた。前月比では+1.0% (2月、同+0.4%) と6カ月連続のプラスかつプラス幅も拡大。

2. 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.2220%	1.2400%	1.3011%	
1W	1.3190%	1.4000%	1.4061%	1.3400%
2W	1.3530%	1.5500%	1.4248%	1.3500%
1M	1.4615%	1.4500%	1.4333%	1.3800%
3M	1.4715%	1.6200%	1.4500%	1.4100%
6M	1.4830%			1.4500%
9M	1.4940%			1.4700%
12M	1.5050%	1.7500%		1.4800%

中国人民銀行は、月初の資金余剰に対する吸収オペレーションを続けているものの、短期の月内物は1.2%台、ターム物も1カ月が1.4%台半ばで出合っている。

NCD市場の金利水準も、低位で推移しており、ターム物の金利水準は1カ月が1.3%台後半、3カ月が1.4%前後、6カ月は1.4%台前半、1年も1.4%台後半で取引されている。

(2) ミドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	3.67%	3.68%
1W	3.70%	3.72%
1M	3.72%	3.75%
3M	3.78%	3.85%
6M	3.80%	3.85%
12M	3.80%	3.90%

中国国内市場では、短期の需給はやや改善したものの、ターム物の出しは限定的となっており、金利水準は高止まりしており、1カ月から3カ月が3.7%台後半で出合っている。

3. 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.17%		1.41%	1.49%	1.55%
6M	1.18%		1.44%	1.51%	1.57%
1Y	1.21%	1.30%	1.51%	1.54%	1.61%
3Y	1.36%	1.43%	1.63%	1.71%	1.87%
5Y	1.55%	1.65%	1.69%	1.82%	2.14%
10Y	1.81%	1.97%	2.05%	2.20%	2.67%

米国債券市場は、中東停戦と原油価格低下期待から下値を切り上げる上昇（利回り低下）となっていたものの、週末の中東和平交渉を前に米CPIが概ね予想通りながらエネルギー価格を主因に急激な上昇となったことから上昇幅（利回り低下幅）を縮小する展開。

中国債券市場では、資金需給が安定し、短期の資金市場で金利が低下していることや、中東情勢を受けた世界的な利回り低下も手伝い、金利低下余地を残す中長期や信用債を中心に買いが入る展開。イールドカーブは、全体的に下方にシフトする中でスティーピング化の巻き戻しから小幅にフラットニングに転じ、クレジットスプレッドはさらに縮小。

この結果、10年米国国債利回りは4.32%（前週末比-2bp）へと一段と低下し、10年中国国債利回りは1.81%（同-1bp）に低下したことから、利回り差は251bp（同-1bp）へと小幅ながら縮小が続く。

4. 先物為替市場

	USD / CNY
1M	-138.0 / -137.0
3M	-408.0 / -407.0
6M	-803.0 / -802.0
9M	-1,182.0 / -1,178.0
12M	-1,540.0 / -1,535.0

対ドル基準レートは、6.8654と前週末比-275pipsのドル安元高、対円基準レートは4.3056と同-131pipsの円安元高と、対ドル基準レートは、3年来の元高水準ではあるものの、市場実勢対比では大幅な元安での設定となっている。

中国国内市場では、清明節の連休明けは概ね前週末と同水準の1ドル=6.88元近辺で始まり、その後は中東情勢改善への期待からドル安の流れとなり、1ドル=6.82元近辺までドル安元高が進んだものの、中国人民銀行の市場実勢比大幅な元安水準での基準レート設定や急速な元高への警戒感から、1ドル=6.83台半ばに戻して週末を迎えている。

先物は、直物市場では元高が進んだものの、米中の金利水準に大きな変化がなく、中東情勢の先行き不透明感から様子見姿勢が強く、1年物は-1,500台前半での小幅な値動きに終始。

5. 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.48%		1.40%
6M	1.48%	1.51%	1.40%
9M	1.49%	1.51%	1.40%
1Y	1.49%	1.52%	1.40%
3Y	1.54%	1.57%	1.40%
5Y	1.62%	1.66%	
7Y	1.68%	1.74%	
10Y	1.76%	1.83%	

金利スワップ市場は、短期の基準金利が低位で安定し、債券利回りも中長期期ゾーンを中心に低下を続けたものの、スワップ市場の金利水準は前週に大幅低下していたことから概ね変化なく、スワップスプレッドは小幅ながら拡大に転じている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされようようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。